

磐城調査新報

發行日 昭和二三年三月三十日
編輯部 磐城調査新報社
印刷部 磐城調査新報社
電話 二九二九番地
新報定價 一月十元 三月廿元 半年六十元 一年一百元

議會終了後

地方遊説の御題目

縣議選を控へ 悩みの三派こそ

議會は一時問題の震手案の暗礁に乗り揚げ不穩の形勢にあつたが、二十三日貴族院に於て大多數を以て免れ角も同問題を可決する事を得たれば今五十二議院は無事に終了するであらう、而して今後與政を以て見られたるは議會終了後に於て各政黨が今秋の縣議選及不可避の春五月の總選舉を控へて黨勢擴張、選舉準備の爲め地方遊説の御題目である、中でも憲政黨では普通法の生みの親である

我黨

に於て之を第一着に運用するものであるの見地から政策主義を標榜して大衆の輿論に問ふ事となるべく、其主眼とするものは社會政策と人口移動、食民策を眞つ向に振興して沈滞せる國民の空氣を一掃せんことを以て、兩問題に於て與論に問ふ看板となすであらうが、これらで民論を沸騰さす見込も少なからうと思はれる

野黨

として肉迫する氣魄を大いに減殺されつゝあるが如きである、かつて高唱した地租移讓案の如き、今や國民も忘れたるに似たり、大養木堂氏が晩節を破つて入黨した際よりの標語とするものは社會政策と人口移動、食民策を眞つ向に振興して沈滞せる國民の空氣を一掃せんことを以て、兩問題に於て與論に問ふ看板となすであらうが、これらで民論を沸騰さす見込も少なからうと思はれる

其間

に於て政友本黨が如何なる策に出づるか、頗る興味ある問題であるが、慢性妥協病と目される同黨は、信を満天下に失つてゐる際として、これ又おのれで相當頭を痛めてゐるらし

大火で焼失の選挙名簿再製

湯本町で

石城郡湯本町では兼て調製してあつた新舊兩法に依り縣會議員選舉名簿及び舊法による衆議院議員名簿は、昨年十二月一日の大火災で焼失したため縣では右三種の名簿を昭和二年三月三十一日現在で改めて調製すること命じられたが、確定期日は、衆議院議員(舊法)昭和二年六月十二日、縣會議員(新法)昭和二年七月三日、(舊法)昭和二年六月廿三日以上である。

病床雑感

病氣にはあまり縁のない俺の家なのに、どんな風の吹き廻りかこの頃引續いて病人が出た、妻が五六日寝る、一番目の女の子が三日間、次が俺だ、いづれも流石だ、今度の流石で死んだ人が極めて少ないと知つて、めでたさで、床について、ポツポツと天井を眺めてゐると、良

麥人生

旬刊新聞でいつも見られたわあると思ふのは大和田君の磐城の實業と鈴木君の經濟新報だ、實業の筆は多少カビ臭い感がないでもないが、一種人を威嚇する、重々しい論調で、常に目新しい、讀者の興味をそそぐ記事を満載する所、流石多年の功は争はれぬものだ

養鶏家の福音

四月一日から實施

農林省は鶏卵自給策樹立の根本方針に基き養鶏奨励計画を立て、新豫算にこれを経費七十餘萬圓を計上したが、議會の協賛を経たので四月一日から實施することになり、養鶏奨励規則を昨日の官報で公布した、本計劃中最も重要なのは國產種鶏所の新設であるがこれについては殆ど全國的に希望があつて當局も選擇に迷つてゐるが初年度は五ヶ所の豫定であるため四國、九州、關東、東海道の四地方に各一ヶ所と北陸、東北の一地方を選び一ヶ所

社告

「平町發展策」の私見

希望「前號より引續き掲載のはずでしたが、社都合で今回だけ休載いたします、次號を期待あらん事を。

花下の點燈

平消防組で

爛漫たる櫻花の下の廣告燈は平消防組が之を主催し、東電平營業所協賛にて點燈集をなすと

花下の點燈

平消防組で

爛漫たる櫻花の下の廣告燈は平消防組が之を主催し、東電平營業所協賛にて點燈集をなすと

社告

「平町發展策」の私見

希望「前號より引續き掲載のはずでしたが、社都合で今回だけ休載いたします、次號を期待あらん事を。

のをもどかしと思ふ。俺と同じ組で新聞の經營には新米な筈の磐城新報の高木君は經營に於ては異狀な才幹を有する人だと思ふ、如才な外交の君の温顔は君の新聞を大成さすものだ、つらな造作は免れ角として君にも學ぶ可き点が多い。

藤田校が童話どりとお祈の會をやつて大成功した、十九二十日の三回の開演で四千近くの人に新しい斯道の流行を示してくれた事は感謝に値する。

この大會に、陸軍記念日か忠魂祭以外にはその存在を忘れられてゐる平町在郷軍人分會から、大花輪が寄贈されて場内に異彩を放つてゐるのを目につく、今迄も慈善音樂會や青年達の体育奨励を意味する催しや事業が可なり多かつたのみだ。

本邦最大最良の相互保險

千代田生命保險相互社會

株主なき社會

生命保險の必要

今日節約して明日に備へませう

それには貯金を兼ねた生命保險をつけるに限りません。將來に對する不安が除かれたとき初めて平和と力とが得られます。保險に加入するには基礎の確實な契約者本位の會社を選ぶ事が肝要です。

● 我社の現況

◎ 現在 契約 昨年末 四億五千萬圓
 ◎ 資 産 昨年末 七億五千萬圓
 ◎ 新 契 約 昨年末 壹億五千萬圓

創業以來我社が急がず休まず發展して來ました。前記の數字は正直に我社の現況を語るものであります。

● 我社の特色

- 一 契約者本位の相互組織
- 一 契約者共有の保險會社
- 一 堅實の經營鞏固の資産
- 一 保險金の支拂迅速寛大
- 一 最高率の契約者配當金

我社は相互組織ですから一人の株主もありません従つて會社の利益は契約者に分配してをります。

● 契約者配當金 (正味保險料が最も安い)

一 昨年の四百拾七萬餘圓の剰餘金を得まして、其内參百六拾五萬餘圓を契約者配當準備金に繰入れました。其結果前年即ち大正十五年は左の通り配當しました。目下昨年度決算中ですが本年度も引續き好配當を爲し得る自信があります。

甲種養老 保險金壹千圓に付き満期配當金四百拾七圓

三年に御契約の方は四分五厘、十二年の方は九分、十一年の方は一割三分五厘となり此保險を始めた明治四十三年に契約された方には今年掛保險料の六割七分五厘を配當する事となりました。保險料百圓に付き配當金及差引拂込金は左の通りであります。

年本掛保險料百圓に對する
 年本實際配當金

契約の年	配當金	正味掛金
一	一	一
二	二	二
三	三	三
四	四	四
五	五	五
六	六	六
七	七	七
八	八	八
九	九	九
十	十	十
十一	十一	十一
十二	十二	十二
十三	十三	十三
十四	十四	十四
十五	十五	十五
十六	十六	十六
十七	十七	十七
十八	十八	十八
十九	十九	十九
二十	二十	二十
二十一	二十一	二十一
二十二	二十二	二十二
二十三	二十三	二十三
二十四	二十四	二十四
二十五	二十五	二十五
二十六	二十六	二十六
二十七	二十七	二十七
二十八	二十八	二十八
二十九	二十九	二十九
三十	三十	三十
三十一	三十一	三十一
三十二	三十二	三十二
三十三	三十三	三十三
三十四	三十四	三十四
三十五	三十五	三十五
三十六	三十六	三十六
三十七	三十七	三十七
三十八	三十八	三十八
三十九	三十九	三十九
四十	四十	四十
四十一	四十一	四十一
四十二	四十二	四十二
四十三	四十三	四十三
四十四	四十四	四十四
四十五	四十五	四十五
四十六	四十六	四十六
四十七	四十七	四十七
四十八	四十八	四十八
四十九	四十九	四十九
五十	五十	五十

三年目から掛保險料の四分五厘を累加配當としてゐます。即ち大正十五年に御契約の方は四分五厘、十二年の方は九分、十一年の方は一割三分五厘となり此保險を始めた明治四十三年に契約された方には今年掛保險料の六割七分五厘を配當する事となりました。保險料百圓に付き配當金及差引拂込金は左の通りであります。

平野代店

福島縣平野町材木町四一

本社 東京市橋區南區馬場二丁目番八
 仙臺支部 仙臺市大町二丁目番一

第廿一回産婆生徒募集

- 一 募集人員 若干名
- 一 入學資格 高等小學卒業程度若ハ同等以上ノ學力ヲ有スル者
- 一 修業年限 兩科通ジテ一ケ年
- 一 申込期間 本年三月三十一日

平野町南町 (電話三〇七番)

平野町南町 産婆學校
 校長 清野キヨ



山崎合名會社
 東京支店
 電話 下谷五七二番
 振替東京六一九七五番

生徒募集

- 募集人員 高等女學部 五十名
- 募集人員 師範部 五十名
- 募集人員 技藝部 五十名
- 募集人員 速成科 五十名

入學資格 師範部並ニ技藝部、速成科ハ高等小學卒業以上ノ學力アルモノ、高等女學部並ニ技藝部、高等科ハ尋常小學卒業以上ノ學力アルモノ、高等科卒業生、選考ノ上高等女學部ニ入學ヲ許ス

願書提出 三月三十一日限り

私立平陽實科女學校

私立藤田裁縫女學校生徒募集

一、募集人員左ノ如シ
 1 普通科百五十名 2 高等科若干名
 3 速成科三十名 4 手藝科若干名
 5 高等女學部五十名 6 高等女學部若干名

▼教員養成科 入學資格ハ本校高等科、速成科卒業者及本校高等女學部第三年在學者ナリヲ以テ同科希望者ハ先ツ普通科、速成科又ハ高女部何レカニ入學サレタシ

二、入學手續
 各科(部)共入學ヲ許ス、志願者ハ本校規定在學證書ニ適當記入捺印ノ上二月十五日ヨリ三月三十一日迄ニ平町私立藤田裁縫女學校ニ提出スベシ

◎定員超過ノ際ハ在學證書提出ノ順ニ採用ス
 ◎詳細ハ本校宛學則請求セラルベシ(返信封二錢封入)

私立 藤田裁縫女學校
 福島縣平町(電話三二二八番)
 藤田裁縫女學校 湯本分校

磐城工業商會

平町四丁目
 電機 機械
 中村佐次助
 電話一〇二八
 電器 零イコ

ヒヨケ、シート
 テント、其他
 敷島ヒヨケ店
 磐城平町南白銀町九
 電話(シキ)又ハ(シ)

御報参上いたします

良品廉賣に勝る商略なし!!!

磐城セメント會社特約店

和洋銅鐵
 金物問屋
 釜屋商店
 磐城平町 電話九三九番

確實敏捷は(久)の生命なり!!!

諸機械
工具類輸入
製作販賣

平町白銀町
 釜清商店
 電話三二九番
 電話零(七一)

家具指物陳列賣場新設

スミタ三指物店
 工場 平町土橋
 陳列場 同左へ二軒目

理髮器具、化粧品一式
 婦人洋髮器具、鏡 直し

芳香園油店

平警察署前

品質と値段は他店の絶対追従を許さず

仙臺屋靴店

平町搔搔小路

婦人病血の道妙の藥
 滋強第一
 スッポン館
 大塚製薬
 本館 榎屋長命堂
 代理店 山野邊藥局
 平町五丁目角

漆器の御用なら

和久井屋漆器店
 平町一丁目
 電話四〇五番

新學期の御用
 ノカ高一級
 トノバ年萬
 壹五筆各
 百十種
 種
 マルモ友柴田書店

蒲鉾製造
 鮮魚仕出し
 吉田清吉
 平町伊町

和洋菓子問屋
 大川屋商店
 御下宿
 大川屋
 平町紺屋町

水野氷室
 瓦斯コークス部
 平町
 電話三二番

風の吹く日、御心配ではありませんか

日本火災保險株式會社代理店

中野甲藏

思ひ立つたら、すぐ御契約なさい

海産物問屋

入院 隨意
 伊藤彌兵衛
 平町四丁目

外科専門 上田外科醫院
 自炊の便あり
 平町南町(電話二二九)

乗心地よく實用向な自轉車
 ローヤル號 代理店 大高自轉車店
 センチリ號
 購買法も御相談に應じます
 平土橋

生活改善
 荷衣 茗貨
 貸衣裳 荷衣 茗貨
 屋店 古電
 町番 六一三話

折詰日の出納豆
 量が多く、而も清潔な……